

※実務経験のある教員による授業科目

## 授業概要

戦前と戦後の価値の転換を機軸として捉え、修身科において行なわれた道徳教育と戦後の学校教育全体を通じて行なう道徳教育の相違と多様な道徳教育論を学ぶことによって、現代社会から期待されている学校教育の中の道徳について考察する。また、私立学校における宗教教育との関係や日本在住の外国人の問題も視野に入れて多様な社会の中の一員としての自覚を持たせることを学んでいく。

初等教育においては、道徳性の育成の基礎段階にあたり、基本的な生活習慣についてくり返し指導する必要がある。こうしたことを踏まえて、道徳性の発達についての理解を深めていく。

なお以上を含めて、本講義では、担当者の持つ学校教育現場の経験的な内容についても講義する。

## 授業計画

第 1 回	道徳教育とは何か
第 2 回	学習指導要領に定められた道徳教育
第 3 回	教育勅語成立までの道徳教育論
第 4 回	小学校修身教科書と徳目
第 5 回	テーマ討論 国民道徳と道徳教育について
第 6 回	初期社会科と道徳教育
第 7 回	宇佐美寛の道徳教育
第 8 回	法則化運動と道徳教育
第 9 回	コールバーグ理論の道徳教育
第 10 回	人権教育と道徳教育
第 11 回	宗教教育と道徳教育
第 12 回	小学校における「道徳教育の内容」について
第 13 回	学習指導案の作成および模擬授業 自分自身に関する事柄
第 14 回	学習指導案の作成および模擬授業 社会・集団に関する事柄
第 15 回	学校経営と道徳の年間計画について
第 16 回	定期試験

## 到達目標

学校における道徳教育の歴史的展開を考察することを通して、価値観の推移と道徳教育のあり方について検討し、現代的課題に応えられる道徳教育を探求することを目的とする。あわせて、初等教育における道徳教育の内容について指導できる能力を養う

## 履修上の注意

教員になるための必須科目が道徳であることを自覚し、私語など迷惑行為は行わないよう、意識して授業に臨んでください。

## 予習・復習

授業で配布する資料の中に、旧漢字や旧かなづかいの文章があるので、復習して理解できるよう努力してください。

## 評価方法

授業終了時に行なう試験とレポート及び授業への参加貢献度(課題を提言するなど)を総合して評価する。上記の比率はおよそ、試験7:レポート及び参加貢献度3

## テキスト

文部科学省『小学校学習指導要領解説 道徳編』